

## 2. 地域農業維持・発展に向けた若手担い手の確保

(対象：西部農業事務所普及指導課)

### 【評価できる点】

- (1) 多様な担い手の確保・育成は喫緊の課題であり、そこに着目した課題設定は評価できる。
- (2) コロナ禍の対応として、オンライン就農相談や新規就農者フォローアップのためのクラウド版電子カルテなどを活用し、効率良く実施していることは評価できる。
- (3) 新規就農者の育成指導、若手女性農業者への講座など、充実した活動を進めている。

### 【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

#### 1 課題や目標設定に関すること

##### ◆意見・要望

- (1) 事業についてのアイデアや他地域組織との交流やマッチングなどがあっても良い。
- (2) 目標とする数字（到達目標）が各年次でほぼ同じである等、項目設定について、もう少し工夫が必要。
- (3) 担い手の確保、若手農業者への支援とリーダー育成をお願いしたい。

##### ◆意見・要望に対する対応策

- (1) 農業青年クラブや女性農業者組織を対象に、事業のアイデア等についてアンケート調査を実施するなど、現状の要望を把握するとともに、次年度普及計画の策定に向け所内においても検討の上、取り組んでいきます。昔と比べて農業青年クラブ員の平均年齢が上がり、経営主となっているクラブ員もいることから、レクリエーション要素の強い仲間づくりから、経営改善に直結する活動を通じたネットワークづくりに取り組むなど、魅力ある活動を模索していきたいと考えています（2(3)の項を参照）。  
また、管内ではこれまで3つの農業青年クラブが個別に活動してきましたが、各組織ともにクラブ員の減少に伴い活動が停滞しつつあることから、合同事業を企画し、クラブ間の交流を促進したいと考えています。
- (2) 成果指標は、過去の実績データの平均を使用しましたが、その指標の値が妥当だったか、また指標の内容についても検討し、次年度計画に反映させていきます。
- (3) 担い手の確保は最重点課題として考えています。関係機関や産地と連携し、新規就農者の受入体制の整備を進めるなど、新規就農者を積極的に確保できる支援体制の構築に取り組みます。また、新規就農者に対し経営計画の策定や、地域になじめるような内容の研修会を開催するとともに、農業青年クラブ活動を通じた仲間づくりと、県のリーダー認定制度（経営士、アドバイザー、青年農業士）を活用した地域リーダーの育成を図っていきます。

#### 2 活動内容に関すること

##### ◆意見・要望

- (1) 地域おこし協力隊員への就農PR、女性就農者へのイメージアップ（例、作業服を

企画販売している企業等と連携した農業ファッションのPR)にも取り組んではいかが。

- (2) 普及指導員が一生懸命現場の活動に取り組んでいるが、規模の小さい農家にも出向いて、農家の指導をお願いしたい。
- (3) 農業青年クラブに、加入したくなる事業を検討して欲しい。
- (4) 農業青年クラブ、若手女性組織によるプロジェクトは、いずれも重要である、着実に進めていただきたい。

◆意見・要望に対する対応策

- (1) 就農者の確保に向けては、関係機関と連携した推進を図りつつ、地域おこし協力隊制度を活用した就農支援についても、市、JAと連携し取り組んでいきます。また、女性就農者の活躍の場づくりや経営に参画するための支援を行い、若い女性が職業として農業に興味をもってもらえるよう、取り組んでいきます。

また、農業構造政策課が発刊した「きらりと輝くぐんま農業女子 Magazine」に、管内の女性農業者の活躍やライフスタイルを紹介するなど、女性農業者に対するイメージアップに取り組んできたところです。今後も、県庁内組織と地域機関が一丸となり、イメージアップを図っていきます。

- (2) 現状では、限られた人員の中で集団を対象とした組織対応から個別対応まで、幅広く活動しています。今後もJA営農指導員と連携し、規模の大小は関係なく農業者の課題解決に向けた普及活動を展開していきます。
- (3) アンケート調査を実施するなど、現状の要望を把握し、今後の活動につなげていきます。また、農業青年クラブ活動を通じて経営計画の策定に取り組むなど、経営能力向上につながる事業を展開していきます。
- (4) 農業青年クラブ、若手女性組織ともに、会員それぞれの課題や目標などを明確にし、プロジェクト活動を通じて課題解決や目標達成に向けた支援を行っていきます。